

センター講演会のお知らせ

(創薬人育成のための創薬実践道場教育構築事業)

(多機能性人工エキソソーム(iTEX)医薬品化実践を通じた操薬人育成事業)

インターロイキン 27(IL-27)の抗 HIV 活性 ～学生時代からの夢を追い続けて～

講師： 今道 友純 博士

**Frederick National Laboratory for Cancer Research, USA.
Lab Head, Principal Scientist**

日時：平成27年10月30日(金) 16:00～17:30

場所：薬学部2階 第1講義室

IL-27はT細胞刺激因子として発見され、現在は抗腫瘍剤として臨床試験が臨まれている。我々は先に子宮頸管癌ワクチンがHIV(ヒト免疫不全ウイルス)の感染を抑制することを見出し、ワクチンによって産生誘導させるIL-27にHIV感染を抑える活性のある事を報告してきた。この抗HIV活性の機構の解析を進める過程で、IL-27がHIV感染耐性細胞を誘導することを明らかにし、現在はIL-27を用いてHIV感染に対する免疫療法の開発を目標に研究を進めている。更に、IL-27によって誘導される抗ウイルス活性のある6種類の新規のmicroRNAを見出して現在その機構解析をも進めている。今回のセミナーではこのIL-27の抗HIV活性研究の最近の知見を紹介する。

今道博士は、現在アメリカのフレドリック国立癌研究所で主幹研究員をされています。北海道大学薬学部で博士号を取得された後、単身アメリカに渡り25年以上、HIV研究者として活躍されています。本学部の若手教員、大学院生、学生諸君が海外留学に挑戦する刺激になればと思い、一時帰国の機会に講演会をお願いしました。アメリカでの研究についてもお話いただくことになっています。分野を問わず、若い研究者のご来聴をお待ちしています。

※ 教官、大学院生、学部生の多数のご来聴を歓迎します。

※ 兼：創薬研究実践特論(博士後期課程、南川担当分)

※ 兼：医薬品創製資源学特論(博士前期課程、南川担当分)

※ 兼：創製薬学2(3年生)

【連絡先・問い合わせ】生物有機化学研究室 南川典昭 TEL&FAX:088-633-7288(内線6320)